

## 平成25年度第1回加茂地域審議会

日 時 平成25年5月14日(火) 午前10時00分～11時35分

場 所 津山市 加茂支所201会議室

### 出席委員

大塚邦久会長、菅田貞男副会長、赤澤俊彦、上高光昭、岡田一江、岡田 勉、尾島玲子、志水 昇、志水比佐代、智和 正、町田英夫、松本美幸

欠席委員 なし

### 事務局

加茂支所：原田加茂支所長、安達市民生活課長、西山市民生活課主幹  
竹内産業建設課主幹、甲田産業建設課主査

本 庁：宮地市長  
植月地域振興部長、皆木地域振興部次長

傍聴人 なし

---

### 会議次第

- 1 開会
  - 2 委嘱状の交付
  - 3 市長あいさつ
  - 4 委員の紹介
  - 5 異動職員、出席職員の紹介
  - 6 会長、副会長の選出
  - 7 協議事項
    - (1) 加茂地域の主要事業について
    - (2) その他
      - 信号機設置要望書の提出について
      - 加茂幼稚園の年休代員職員の充実について
      - 地域振興基金の残高について
      - ハザードマップの配布について
  - 8 市長との意見交換
  - 9 閉会
-

## 議事録の概要

### 1 開会

事務局 只今から平成25年度第1回加茂地域審議会を開会させていただきます。本日は、全員の委員がご出席をされております。ご出席の委員の皆様には、新たに平成25・26年度の地域審議会委員をお願いしておりまして、本日初めての会議ということで、会長、副会長が選出されておられません。従いまして、会長が決まりますまで私が進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

### 2 委嘱状の交付

事務局 それでは、加茂地域審議会委員の就任につきましてご同意をいただきました12名の委員の皆様には、宮地市長から委嘱状の交付を行います。（委嘱状交付）

### 3 市長あいさつ

市長 平素より皆様方におかれましては、市政の推進に対しまして大変深いご理解、ご協力をいただいております。心から厚くお礼を申し上げます。平成17年2月28日の市町村合併から8年が経過を致したわけでございます。先程、委嘱状を交付させていただきました。地域審議会委員の皆様方には大変お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、津山市におきましても、現在急激に人口減少、少子高齢化が進んでいます。平成17年と平成22年、5年ごとの人口を比較してみますと、5年間で、市全体で約3,800の方が減少しています。旧町村地域では、約1,300人が減少しています。従来の社会減に加えて、少子高齢化による自然減が顕著になっており、もはやこれまで通りでは、まちづくりが非常に難しくなっているところがございます。過疎、高齢化が進む中山間地域では、地域に暮らす方が自分達の地域の在り方を考え、自らの力で地域づくりを行うという新しい協働の取り組みが強まっています。津山市においても、昨年度より定住推進室を設置し、定住施策の充実を図っているところがございます。

今後ともこの審議会を中心にいたしまして、加茂地域の将来につきましてしっかり議論をしていただきまして、地域と行政の協働によるまちづくりを進めてまいらなければならないと思っております。

### 4 委員の紹介

### 5 異動職員、出席職員の紹介

### 6 会長、副会長の選出

事務局 次に、会長・副会長の選出についてお諮りをいたします。地域審議会の組織及び運営に関する協議書の規定に、「審議会に会長及び副会長1名を置き、委員の互選とする。」とありますが、どのようにいたしましょうか。

委員 大塚会長、菅田副会長留任でお願いしたいと思います。（拍手）

事務局 会長に大塚委員さん、副会長に菅田委員さんというご発言がございました。承認ということでよろしいでしょうか。（拍手）

ありがとうございました。それでは、会長に大塚委員さん、副会長に菅田委員さんが決定されました。

## 7 協議事項

事務局 これより協議事項に入らせていただきたいと思います。地域審議会の組織及び運営に関する協議書の規定に「会長は、会議の議長となる。」とありますので、以後の議事進行につきましては、大塚会長、よろしくお願いいたします。

会長 皆さん、おはようございます。

平成17年2月28日に旧加茂町は合併し、今年は9年目に入ってきました。平成17年に10年間、旧市町村に地域審議会を置くということで、今年と来年、あと2カ年でこの審議会の任期も終わるということになるかと思えます。加茂地域の将来に向けて、或いは新生津山の将来の地域振興に向けまして、皆様方のご意見をいただいた中で、この審議会をあと2年間務めてまいりたいと思えます。どうかよろしくお願いいたします。

それでは、会議終了を11時半と設定して進行させていただきます。

### (1) 加茂地域の主要事業について

会長 早速ですが、協議事項に入らせていただきます。加茂地域の主要事業につきましては、平成25年度の主要事業について議題とさせていただきます。事務局の説明をお願いします。

事務局 「平成25年度加茂支所管内の主要事業位置図」を参考に、津山市主要事業、岡山県主要事業について説明。

(津山市主要事業)「黒木第3キャンプ場整備」・「黒木ダム周辺公園整備事業」・「過疎対策事業(市道知和青柳線)」

(岡山県主要事業)「中山間地域交通避難所緊急対策事業(主要地方道津山智頭八東線、一般県道倉見齊の谷線)」・「地方道路災害防除事業(主要地方道津山智頭八東線)」・「地方特定道路防災整備事業(一般県道倉見齊の谷線)」・「橋梁補修長寿命化事業(岸本橋、軒戸橋、一之渡橋)」・「砂防事業(あわら川)」・「広域河川改修事業(青柳川護岸改修、欠場川浚渫)」・「森林基幹道因美線(山下・河井・下津川地内)」・「予防治山事業(原口地内)」

委員 市の「黒木ダム周辺公園整備事業」で、サツキを植えて木柵を取ろうかと聞いたが、どういう格好になるのか。

事務局 朽ちた木柵の撤去と展望台の撤去は、危険なため行います。最初、現地を見て「サツキ」という意見も出ましたが、今後の手入れ等いろいろなことがありますので再度検討し、特にそこを維持管理していただく方々と話をしながら、またご相談させていただきたいと思えます。

委員 除草作業等請け負っているが、毎年予算が減っており、対処できなくなっている。なるべく後の手入れがいらぬものでやってもらいたい。

会長 位置図2番の「災害防除事業」について、平成26年から工事と言われたが、どんな予定になっているのか。

事務局 平成22年よりネットを張ったり崩れた石を取り払ったりしており、今年は300m間の測量をして、どういう方法がいいのかを協議します。知和自治団が所有の土地だと思えますので、地元の自治会のほうには、県からまたお願いがあらうかと思えます。

委員 県の方から話があるということなので、地元には説明をいただけるよう伝えてください。お願いします。

委員 主要事業ではないが「津山智頭八東線の改良」について、鳥取県に入ってから急に道が狭くなっているが、将来的にこの道は広がるのか。その見通しが分かれば教えてもらいたい。

事務局 「津山智頭八東線」につきましては、津山市が期成会を持っており、毎年、広報活動等行い、併せて国にも情報を持ってあがっております。今現在、津山と鳥取を繋ぐ主要道路は国道53号線だけで、緊急輸送路的な代替的道路がないため、津山智頭八東線についても国に対して強く要望しております。また、冬の間は通行止めになるため、鳥取県とも協議をして、残りの区間のトンネル化も含めて整備できるよう、県・国に対して要望しております。

委員 川の浚渫について、今、東加茂地区の河川で土が溜まってきており、水が出たら溢れる。県が随時やってくださるとい話はしているので、対応してもらえるか聞いてみてください。

事務局 昨年は、B & Gとセイキ林業さんの所をやっていただきました。浚渫は、泥を捨てる場所がないとなかなかできないということで、現在は、堂ヶ原で確保している所がありますが、全部そこへ持っていきますと足らなくなってくるので、今は、黒木地区のほうにお願いして残土捨て場を確保しつつあります。それが出来ると継続できるので、県がやると聞いております。

## (2) その他

会長 次に、(2)その他 について、事務局からお願いします。

事務局 信号機設置要望書の提出について  
東西橋東詰め交差点への信号機設置要望について、「交通安全施設設置要望書」を2月8日に、津山警察署、津山市、美作県民局へ提出。津山警察署では、大塚会長が直接要望される。

事務局 加茂幼稚園の年休代員職員の充実について(前回の要望事項)  
こども課より回答あり(朗読)  
~ 加茂幼稚園には、以前から路線バスでの通園児の送迎という、市内の他園にはない業

務があります。そのため、朝の迎え、保育終了後のバス停までの送りは毎日職員が当番を決め対応しています。保育終了後の預かり保育も実施していることから、園児の降園時間がまちまちな状況となっており、全職員が職員室に揃う時間が非常に少なく会議や打ち合わせ等に支障をきたしている状況も把握しています。

今年度からは、バス通園の園児も増加しているため、園児の安全確保のため、限られた人員体制のなか、年度途中で補助員の配置換えの措置も行いました。ただし、補助員は年休代員という業務であるため、他園の職員の代員として派遣される場合もあります。特に1月は様々な要因が重なり、加茂幼稚園に勤務する日数が著しく少なかった事も事実です。

来年度に向けては、阿波方面からの通園で、送迎の必要な路線バスの本数も増えるため、職員の体制等を再度検証し、園児の安全確保とより円滑な園運営に向け、関係部署も含め協議・検討をまいります。～

事務局 地域振興基金の残高について

平成24年度「消火栓ボックス等の更新補助」、「上原グランド整備」で5,546,400円を取り崩す。平成24年度末の残高は53,480,350円。平成25年度「ウッディハウスの大広間等の改修」、「黒木第3キャンプ場の場内通路の舗装」、「黒木ダム周辺施設の修繕」に14,800,000円を充当予定。平成25年度末の残高は38,680,350円になる見込み。

事務局 ハザードマップの配布について

広報つやま5月号と一緒に配布。

会長 「信号機設置要望書」につきましては、東西橋線に歩道が無いということで、一般的な信号機は原則的に無理だということをおっしゃられましたが、その後、関係者の方々が見に来られており、設置の方向で動いていただければと期待しているところです。

委員 「加茂幼稚園の年休代員職員の充実」について、こども課の回答はいつ時点のものですか。また、現実はどうなっていますか。もう一つ、併せてバス停を幼稚園の近くにという話もしていましたが、その結果についてもお願いします。

事務局 回答は2月です。バスについては、阿波バスも加茂バスと同じように小学校の所に止まっています。また、バス停を幼稚園の近くに作ることは、相当難しいです。

会長 皆さん方から、その他として何かありますか。

委員 橋について、東西橋の欄干の傷みが激しいのでその改修と、三岩橋の欄干の下側にかなりクラックが入っており、単なる表面上のクラックなのか、中まで入っているのかを確認していただければと思います。

事務局 本庁担当課と協議しながら、橋梁点検を実施出来るよう要望していきます。

事務局 市道ということで、東西橋の塗装については、一応見積りを取りました。約500万ということですが、厳しい予算の中で、なかなか出来ないというのが実状です。

委員 毎回、審議会の委員で、防災行政無線の存続についてはお願いをしてきております。東南海地震、それから大原活断層の地震、鳥取内部地震等、地震の災害に備えるとともに、地球の温暖化によるゲリラ豪雨等で山崩れが起きる等、非常に危険度が高くなっています。

そうした状況から住民の命を守るためには、迅速な情報を提供していかねばならない。是非、存続をお願いしたいということで毎回お願いしているんですが、その後の状況等、教えてください。

事務局 津山市では今、FMラジオを使っただけの緊急告知を調査しており、電波の不感知地区がどの程度あるかという結果が、今年の夏頃には出る予定です。その結果により、FMラジオを使った告知システムでいくか、今ある防災無線を再度整備する方法でいくかの決定をしたいと思います。調査結果が出るまで、待っていただきたいと思います。

委員 高齢化が進み、耕作放棄田も増え、木は覆い茂り道路はでこぼこ道、そういう所の管理はどうされていますか。

事務局 市道であれば津山市のほうで路面の整備等ができます。また、農道であれば受益者の方々に整備していただき、昔の赤線であれば地元で対応していただきます。確かに、耕作放棄田等多々ありますので、道路が通れなくなるといった現象は多々起きております。場所を確認できれば、具体的な対応ができると思います。

委員 支所にはいろいろな事をお願いしますが、すぐに来て対応していただき大変有難く思っています。ただ、予算のかかる修繕等には、対応等に時間がかかったり、なかなか出来にくい実態があります。緊急避難的にすぐ対応を業者をお願いできる財源を、お願いしたいと思います。

事務局 緊急の修繕ということで500万円、今年度も支所に予算を付けていただいておりますので、またご相談をしていただいたらと思います。

委員 何年前前の大雨で田んぼが全部冠水した際に、きれいに畦を造っていただいて、石を積んで護岸をしていただいたんですが、今、石が田んぼの中へ崩れてきています。

事務局 担当が津山市になるか県になるかわかりませんが、支所へ言っていただければ、現地を見て対応させていただきます。

委員 自らの力で、まずまちづくりをと言われますが、地域においても私たちの力の限界が来ています。津山市のほうで何か考えておられる事がありましたら、教えていただけたらと思います。

市長 こうしたらこういった状況になってしまうというような、特効薬のようなものはございません。漠然と今までのような形が取れなくなったから、地域の皆さん方も行政と一緒にやってやろうといった、漠然とした言い方になっています。

会長 テーマが大き過ぎるので、これくらいで。それでは、その他の項は以上で終わらせていただきます。

## 8 市長との意見交換

会長 引き続きまして、市長との意見交換に移らせていただきます。折角の機会ですから、皆さん方が普段思っている事をどうぞ。意見交換という形でこの場を持ちたいと思います。

市長 土地開発公社の解散の問題について、具体的に言いますと、全国的にもこうした津山と同じように土地を長年所有してどうにもこうにもならんという状況がありまして、国のほうが第3セクター等改革推進債という制度を作りました。もうこれ以外に、この制度を使って整理する以外に方法がありません。

議会の中でも、そんな事をしたら更に市民に負の遺産をつくるじゃないかと、厳しい意見もありましたが、「どうしたら、この問題の整理が付くのか。」と言ったら、全く案がありません。今回、広報つやま5月号で特集を組みました。市民の皆さんにわかりやすい言葉で読んでもらえるように載せておりますので、ぜひ皆様方、お目をお通しいただきたいと思っております。

委員 加茂地域にもふるさと振興公社があり、解散か吸収かという話も出かかっています。各団体が出資しており、今は、トントンで単年度決算はいけるんですが繰越赤字が大変あります。出資金の大半を津山市が持っていますが、津山市に全部買い取ってもらって解散ということは出来ないか。

委員 今、言われた内容で、出資金の返金については、温泉権で年間80万程利益が上がっているんで、利益の積立等と営業努力により、それが出来た段階で返しますということです。

市長 私がどう思うかという話ではあるのですが、土地開発公社の大きな負債を、皆さん方が合併したことによって物凄いものを背負わされた。そういう面からいうと、よく考えないとイケませんね。

会長 公社は、阿波にも他にもある。津山市として各公社をどうするのかを全体的に考えないといけな時期がきている。公社そのものが、そんなに利益が上がるものではない。利益が上がらないから公社ができています。将来のことを考えたら、整理整頓をしていかないと、津山市の財政が非常に窮屈になることは明白です。全体のことを踏まえた中で、対応してもらえないでしょうね。

委員 加茂町で、空き家がどの地区に何軒あるか等、行政情報はありますか。また、田んぼは、持っていない人でも持つことはできますか。

事務局 農地は、3反なら買えるはずです。

委員 新加茂地区の空き家については、2・3年前に県の方が来られて全部調査をされました。岡山県のホームページを見たら、空き家が探せるはずですよ。

事務局 3年前に県の調査で、加茂地域の空き家の調査をしています。そのデータも県からいただいています。空き家の持ち主には、インターネットの空き家バンクに登録をしていただくようお願いもしていますが、調査情報も個人情報になるので、なかなかお出しできません。行政だけでは限界があります。

委員 人口が何人減等、言われましたが、住民票の人数ではなくて津山にいる人数ってどれくらいなのでしょう。住民票を移さずに外に出ている子ども達が結構いますでしょう。加茂町でも、実際の住民票の人数よりもかなり少ない人数で生活している。ちょっと難しいですけど新たにこんなに住みやすいですよと売り込む工夫が必要なのかなと、切実に感じています。

市長 正式に言えば住民基本台帳法というのがあって、本来ならば住居の本拠地できちっと登録しないとイケないのですが、実態としては、住民票を置いて向こうで生活している学生が多いですね。一覧表を見ると、町村の中では、久米町が一番減少率が少ないですね。一番人口減少率が厳しいのは、阿波ですね。人口が3万人位の高梁・新見を見ると、人数は3,000から4,000人。率から言えば、人口10万人の津山は低いほうですが、とんでもない状況になっています。

会長 また会える機会もありますので、これで終わりにいたします。

市長 皆さん、どうもご苦労様でございました。

先般も、市政報告会をやらせていただきましたが、非常に多くの方が意見を聞かせてくださいました。本当に有難い事でございます。これからも、お約束をさせていただいておりますように、謙虚な気持ちで、皆さん方のお声を真面目に聞き、市政に当たらせていただこうと思っておるところでございます。

審議会の皆様におかれましても、本当にこの地域の事は十分わかって精通されているわけでございますから、是非とも意見をお聞かせいただきながら、均衡のある市政を目指して頑張ろうと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。大変お忙しいのにありがとうございました。

## 9 閉会

副会長 今日の審議会の中でお話もありましたように、合併時に、新生津山市の均衡ある発展を図るために、合併協議会で新市建設計画を作成いたしました。以後、その計画に従いまして計画的に事業を実施していただき、また、この審議会でのいろんなご意見が出されますがその意見を一つ一つ実現していただきまして、本当にありがとうございます。

今、私たちの頭にあるのは、先程も申し上げましたように、地域住民の命を守るという観点から、是非とも防災行政無線の存続をお願いいたしまして、本会を閉会といたします。ありがとうございました。